

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成 28 年 6 月 27 日 (N0.77)



浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所

東神楽町を訪問

■6月27日(月)、東神楽町教育委員会(水野和男教育長)を訪問し、CS推進等について学ばせていただきました。

人口増で躍進するまち東神楽町では、CSをはじめ文部科学省等の事業を積極的に受け

け、望ましい環境づくりに力を注いでいました。

■平成26年度から先進地視察、合同推進委員会や制度活用説明会開催など、周到な準備を重ね、平成28年1月から全小学校4校をCSに指定し活動を開始していました。

すでに「地域学校協働本部」を設置するとともに、学校運営協議会連絡協議会との連携を想定しながら、小・中一体となった学校づくりを目指していました。

CSの導入から小中連携に進むやり方や外部評価委員を配置するなど、地域や学校の特性に応じた先進的な取組が行われていました。

■また、「首長部局等との協働による学校モデルの構築事業」の取組では、チーム役場(首長部局等)との協働により、いじめや非行、虐待等の緊急的課題への対応、貧困や学力不振、不登校等の予防や相談業務を推進するため、スクールソーシャルワーカーを中心とした学校プラットフォームの設置、職員の加配などに着手していました。

「チーム学校の実現に向けた業務改善等の推進事業」では、マネジメント強化や組織体制の見直しによるチーム体制の構築を目指して、大学と連携した研究に取り組んでいました。

■東神楽町では諸課題に対応するため、地域や学校の実態に即した積極的な教育施策を打ち出しており、首長部局等との協働による取組に教育関係者から大きな期待が寄せられています。

(調査事項)

- ① CSの推進状況と課題
- ② 首長部局との協働
- ③ 地域学校協働本部の設置
- ④ チーム学校の業務改善

(調査者)

久門教育長、水野校長
松橋校長、鈴木次長
佐藤次長補佐、高橋館長



教育の日実践交流会



6月18日(土)、「教育の日実践交流会」があり、多くの町民の参加をいただき、体力づくりの実践発表や「スマホやゲーム機活用のルールづくり」についてパネルディスカッションが行われました。

講師の慶応大学木幡敬史先生から多くの示唆に富むご助言をいただき、有意義な交流会となりました。